

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

「校長室の窓から」

校長 藤 至光

今日から5月。ゴールデンウィークも中盤に差し掛かりますが、今年のゴールデンウィークは、例年と大きく違いますね。「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止のために、国から「緊急事態宣言」が発令され、学校は臨時休校期間が延長、さらに外出や人との接触も制限されています。皆さんもとても残念な思いで日々の生活を送っていることと思います。

私は、この4月に丸山台中学校の校長として着任しました。4月6日の入学式、4月7日の始業式からもうすぐ1か月になろうとしています。

例年の学校であれば、身体計測やスポーツテスト、生徒会や部活動のオリエンテーションなどが行われ、1年生が入部し、2年生には初めて後輩ができ、3年生は最後のシーズンに向けて張り切っているところだと思っています。

また、クラスでは、学級目標が決まり、「1年かけてその目標が実現できるように頑張っていこう！」とスタートを切ったところです。そして、各学年の校外行事に向けて、スローガンや生活の決まりを話し合ったりしながら、委員会活動も活発になったりしてくる頃だと思っています。

私も「今年のゴールデンウィークは、部活の応援に行くぞ！」と、気合いを入れていましたが、それはかないませんでした。君たちが汗を流して頑張っている姿を見て、大声で応援したかったのですが、とても残念です。

さて、君たちのいない校舎はとても寂しいです。君たちのいない体育館はひんやりしています。君たちのいないグラウンドはとても静かです。使ってもらえないグラウンドは、意地になって固まっているようで、地面が固くなっています。

学校は、君たちがいてこそその価値があることに改めて気が付きます。早く「新型コロナウイルス感染症」が終息し、日常生活が戻ってしてくれることを願っています。そのために私たちは、「感染しない、感染させない」を合言葉にこのゴールデンウィークも「ステイホーム」を実践し、うちのなかで何ができるか、自分のためになることを考えたいものです。誰もが経験したことのない不安のなか、何が大事なのでしょう。勉強？運動？マンガ？ゲーム？それも大事です。やはり、一番大事ものは命です。君たちの元気な姿を学校で待っています。